

平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月6日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 大
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舟橋 浩司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) (03)3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績（平成24年3月1日～平成24年5月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	9,730	1.6	812	95.0	858	105.4	528	—
24年2月期第1四半期	9,577	△10.2	416	—	418	—	△240	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	34.21	—
24年2月期第1四半期	△15.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	27,858	14,394	51.7
24年2月期	28,534	14,178	49.7

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 14,394百万円 24年2月期 14,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,100	△4.4	690	4.1	770	10.6	440	—	28.21
通 期	38,900	△3.8	2,300	11.4	2,440	15.5	1,260	△33.5	80.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期1Q	15,597,638株	24年2月期	15,597,638株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	277,520株	24年2月期	3,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期1Q	15,460,097株	24年2月期1Q	15,594,330株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第1四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 「参考資料」	9
商品別売上高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成24年3月1日～平成24年5月31日)における我が国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復に向かいつつありましたが、欧州諸国政府債務問題の長期化や依然として続く円高などから、先行きの不透明感はぬぐえない状況にあります。

1) 消費環境の概要

- ① 個人消費は緩やかに増加しており、消費者マインドは持ち直しつつあります。
- ② 衣料品の消費に影響を及ぼす天候については、前半においては気温が平年を下回る日が多く、また後半には記録的な大雨や竜巻が発生した地域もあるなど、どちらかと言えば不順でありました。

2) 当社の状況

厳しい消費環境のもと、当社は以下のような施策を実施して、客層の拡大を図り、売上・利益の増大に努めてまいりました。

① 商品施策

「ナノプラチナデニム」「香り付Tシャツ・ジーンズ」「着心地ひんやりインナー SARARI Cool」など、お客様のニーズに応える様々な機能を付加した商品を開発し、販売いたしました。特に「ナノプラチナデニム」は、化粧品などに配合されるナノプラチナコロイドを付着させた世界初のジーンズであり、販売はたいへん好調に推移しています。

また、「Lee Cooper」ブランドTシャツの販売を開始し、同ブランド商品の今秋よりの本格展開に向けて準備を開始しております。

② その他の施策

TVCMの実施、フリーマガジン「NANA style」第5号の発行、モバイル会員向けの機動的な情報発信など、引き続き積極的な販売促進策を実施しました。また、毎月15日・16日を「シルバーデー」として60歳以上のお客様に割引を実施するなど、一層の客層拡大に努めました。

店舗につきましては、29店舗の改装を実施したほか、新規出店6店舗、退店9店舗により、当第1四半期会計期間末店舗数は479店舗(前年同四半期比37店舗減少)となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は9,730百万円(前年同期比1.6%増)、売上総利益率の前年同期比1.2ポイントの改善及び販管費のコントロールによって、営業利益は812百万円(前年同期比95.0%増)、経常利益は858百万円(前年同期比105.4%増)、四半期純利益は528百万円(前年同期は四半期純損失240百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ675百万円減少し、27,858百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ588百万円減少し、20,419百万円となりました。これは主に商品が1,001百万円増加した一方で現金及び預金が1,795百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ86百万円減少し、7,439百万円となりました。これは主に閉店により敷金及び保証金が145百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ891百万円減少し、13,464百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ804百万円減少し、10,196百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が377百万円、ファクタリング債務が333百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ86百万円減少し、3,268百万円となりました。これは主に長期リース資産減損勘定が65百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ215百万円増加し、14,394百万円となりました。

これは主に剰余金の配当155百万円、自己株式の取得157百万円を行った一方で、四半期純利益を528百万円計上したことによるものであり、総資産に占める自己資本比率は51.7%となり前事業年度末に比べ2.0ポイント増となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年4月10日付、「平成24年2月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

① 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

② 役員退職慰労引当金

当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員に対する退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく要支給額を計上しておりましたが、平成24年4月10日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成24年5月23日開催の定時株主総会において在任期間に対応する退職慰労金の打ち切り支給を行うことを決議しております。

なお、支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とし、当該総会までの期間に相当する役員退職慰労金相当額135百万円を固定負債の「長期未払金」に計上しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,603	11,807
売掛金	405	774
商品	6,144	7,146
前払費用	407	403
繰延税金資産	324	190
その他	122	96
流動資産合計	21,008	20,419
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	174	171
建物附属設備(純額)	621	690
構築物(純額)	44	48
工具、器具及び備品(純額)	54	66
土地	238	238
その他	0	0
有形固定資産合計	1,134	1,216
無形固定資産		
投資その他の資産	113	113
長期前払費用	196	193
敷金及び保証金	5,812	5,666
繰延税金資産	218	197
その他	111	109
貸倒引当金	△60	△56
投資その他の資産合計	6,277	6,110
固定資産合計	7,526	7,439
資産合計	28,534	27,858

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,544	5,166
ファクタリング債務	3,166	2,832
未払金	551	402
未払法人税等	123	180
未払費用	769	815
賞与引当金	104	207
店舗閉鎖損失引当金	150	118
リース資産減損勘定	374	330
資産除去債務	10	22
その他	206	119
流動負債合計	11,001	10,196
固定負債		
長期未払金	257	382
退職給付引当金	1,353	1,343
役員退職慰労引当金	133	—
転貸損失引当金	288	292
長期預り保証金	233	242
長期リース資産減損勘定	466	401
資産除去債務	618	602
その他	3	2
固定負債合計	3,354	3,268
負債合計	14,355	13,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	7,266	7,639
自己株式	△5	△163
株主資本合計	14,178	14,394
純資産合計	14,178	14,394
負債純資産合計	28,534	27,858

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	9,577	9,730
売上原価	4,989	4,953
売上総利益	4,587	4,777
販売費及び一般管理費	4,171	3,964
営業利益	416	812
営業外収益		
受取利息	5	5
受取家賃	99	104
その他	44	51
営業外収益合計	149	161
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	94	98
転貸損失引当金繰入額	49	13
その他	2	1
営業外費用合計	148	115
経常利益	418	858
特別利益		
受取違約金	—	5
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	7
特別利益合計	—	12
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	23
減損損失	45	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	505	—
災害による損失	17	—
その他	0	—
特別損失合計	569	23
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△151	847
法人税、住民税及び事業税	47	164
法人税等調整額	42	154
法人税等合計	89	318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△240	528

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

当第1四半期累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

当社は衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は平成24年4月16日開催の取締役会決議により、平成24年4月17日に157百万円(274,000株)の自己株式を取得しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	当第1四半期累計期間 自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズアウター	303百万円	324百万円	107.1%	21百万円
メンズインナー	2,369百万円	2,503百万円	105.6%	133百万円
メンズボトムス	1,862百万円	1,925百万円	103.4%	63百万円
レディース	2,811百万円	2,771百万円	98.6%	△40百万円
その他	2,230百万円	2,205百万円	98.9%	△25百万円
合計	9,577百万円	9,730百万円	101.6%	152百万円

(注) 「その他」は小物、子供服等であります。